



## 2020年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 北川精機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6327 URL <http://www.kitagawaseiki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 雅敏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 西田 圭司

TEL 0847-40-1200

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	1,015	28.6	142	69.0	131	56.1	△3	—
2019年6月期第1四半期	789	84.9	84	—	84	—	43	—

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 △2百万円 (—%) 2019年6月期第1四半期 55百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	△0.51	—
2019年6月期第1四半期	5.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第1四半期	5,914	1,685	28.5	220.41
2019年6月期	7,079	2,118	23.8	220.74

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 1,685百万円 2019年6月期 1,688百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,550	△34.6	160	△37.0	140	△42.5	10	△92.8	1.31
通期	4,200	△22.3	350	△39.3	340	△38.7	150	△6.4	19.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) キタガワエンジニアリング株式会社

(注)詳細は、【添付書類】6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付書類】6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期1Q	7,649,600 株	2019年6月期	7,649,600 株
② 期末自己株式数	2020年6月期1Q	1,838 株	2019年6月期	1,838 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期1Q	7,647,762 株	2019年6月期1Q	7,647,795 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移したものの、米中の貿易摩擦による世界経済の下振れリスク等により、先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社グループは、2年目を迎えた中期経営計画「革新と創造への挑戦～独創性で輝き続けるKITAGAWAへ～」に基づき、引き続き3つの重点項目「独自コア技術の新分野・新市場への積極展開」「徹底した工程管理と原価削減による収益性・競争力・製品/サービス品質の向上」「創造性と自主性に溢れ、継続的な成長を支える活力ある強い組織作り」に取り組んでおります。

また、事業の選択と集中を図り、中長期にわたり業績の拡大を目指すうえで、成長事業を柱とした事業領域に資源を集中するため、連結子会社であるキタガワエンジニアリング株式会社(建材機械事業)の全株式を同社へ譲渡し、当第1四半期連結会計期間より「建材機械事業」を当社グループから除外しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、当該株式譲渡に伴い特別利益へ子会社株式売却益18百万円、及び、特別損失へ減損損失136百万円を計上したことから、売上高1,015百万円(前年同四半期比28.6%増)、営業利益142百万円(前年同四半期比69.0%増)、経常利益131百万円(前年同四半期比56.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円(前年同四半期は43百万円の利益)となりました。

なお、当社グループは、主要製品が個別受注生産によるため、製品の納期・受注金額にバラツキがあり、大型案件になるほど売上までに相当期間を要し、月単位での売上高が大きく変動するという特徴があります。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### (産業機械事業)

プリント基板用及び基板関連プレス装置や、車載基板等の成形用プレス装置、自動車部品製造・樹脂成形装置など多様な受注を獲得する中で、海外向け案件の売上が集中したため、売上高946百万円(前年同四半期比112.9%増)、営業利益126百万円(前年同四半期比202.1%増)となりました。

#### (その他)

油圧機器の売上が堅調に推移し、売上高68百万円(前年同四半期比45.2%増)、営業利益8百万円(前年同四半期比31.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は5,914百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,165百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金178百万円の増加と、受取手形及び売掛金774百万円、仕掛品165百万円、建物及び構築物(純額)99百万円、土地237百万円の減少によるものであります。

#### (負債)

負債合計は4,228百万円となり、前連結会計年度末に比べて732百万円の減少となりました。これは主に、前受金190百万円の増加と、支払手形及び買掛金288百万円、短期借入金250百万円、長期借入金111百万円の減少によるものであります。

#### (純資産)

純資産合計は1,685百万円となり、前連結会計年度末に比べて432百万円の減少となりました。これは主に、非支配株主持分430百万円の減少によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月19日付開示の「特定子会社の異動及び中期経営計画の修正に関するお知らせ」にて精査中でありました連結業績への影響額が確定しましたので、最近の業績の動向等も踏まえ、2019年8月19日発表の予想を修正しました。

詳細につきましては、本日発表の「特定子会社の異動に伴う特別損失の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,771,747	1,950,300
受取手形及び売掛金	1,980,741	1,206,288
商品及び製品	6,187	1,075
仕掛品	827,388	662,318
原材料及び貯蔵品	137,963	108,691
その他	51,730	102,195
貸倒引当金	△5,502	△3,357
流動資産合計	4,770,255	4,027,513
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	576,681	476,917
土地	1,291,323	1,054,062
その他(純額)	206,945	192,986
有形固定資産合計	2,074,951	1,723,966
無形固定資産	22,124	13,248
投資その他の資産		
その他	222,643	160,166
貸倒引当金	△10,815	△10,790
投資その他の資産合計	211,828	149,376
固定資産合計	2,308,904	1,886,592
資産合計	7,079,159	5,914,105
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	830,940	542,652
電子記録債務	391,396	369,734
短期借入金	1,375,000	1,125,000
未払法人税等	76,785	6,268
前受金	595,487	785,679
賞与引当金	29,842	49,317
製品保証引当金	39,032	44,200
受注損失引当金	—	420
その他	330,853	255,359
流動負債合計	3,669,339	3,178,631
固定負債		
長期借入金	827,961	716,678
役員退職慰労引当金	62,347	750
退職給付に係る負債	388,412	320,661
その他	12,837	11,719
固定負債合計	1,291,557	1,049,808
負債合計	4,960,897	4,228,440

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,335,010	1,335,010
資本剰余金	1,340,745	1,340,745
利益剰余金	△993,880	△997,806
自己株式	△1,114	△1,114
株主資本合計	1,680,760	1,676,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,770	5,983
為替換算調整勘定	4,653	2,847
その他の包括利益累計額合計	7,424	8,831
非支配株主持分	430,077	—
純資産合計	2,118,262	1,685,665
負債純資産合計	7,079,159	5,914,105

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上高	789,653	1,015,339
売上原価	525,136	712,137
売上総利益	264,517	303,202
販売費及び一般管理費	180,135	160,620
営業利益	84,381	142,581
営業外収益		
受取利息	172	98
受取配当金	291	312
為替差益	6,610	—
受取賃貸料	2,100	2,490
その他	992	1,216
営業外収益合計	10,167	4,116
営業外費用		
支払利息	9,231	8,512
その他	1,105	6,755
営業外費用合計	10,337	15,268
経常利益	84,211	131,429
特別利益		
子会社株式売却益	—	18,657
特別利益合計	—	18,657
特別損失		
減損損失	—	136,235
特別損失合計	—	136,235
税金等調整前四半期純利益	84,211	13,852
法人税等	26,330	17,779
四半期純利益又は四半期純損失(△)	57,881	△3,926
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,446	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	43,434	△3,926

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	57,881	△3,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,068	3,213
為替換算調整勘定	△210	△1,806
その他の包括利益合計	△2,278	1,407
四半期包括利益	55,602	△2,519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,155	△2,519
非支配株主に係る四半期包括利益	14,446	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、キタガワエンジニアリング株式会社の全株式を同社に売却したため、同社及び同社の子会社である株式会社中国機設を連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

税金費用の計算は、従来、見積実効税率により税金費用を算定しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、税金費用をより適切に四半期連結財務諸表に反映するため、年度決算と同様の方法による税金費用における簡便的な方法に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による前第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年9月30日)

当第1四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)に記載のとおりであります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年9月30日)

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度まで「産業機械事業」及び「建材機械事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、連結子会社であるキタガワエンジニアリング株式会社(建材機械事業)の全株式を同社へ譲渡したため、当第1四半期連結会計期間より「建材機械事業」を当社グループから除外しております。

このため、「産業機械事業」以外の事業は重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

## (重要な後発事象)

## (資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分)

当社は、2019年9月26日開催の第63期定時株主総会において、資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分についての決議を受け、2019年11月1日付でその効力が発生しております。

## 1. 資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

繰越利益剰余金の欠損を填補し、財務内容の健全化を図るとともに、株主還元を含む資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的としております。

## 2. 資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少の要領

会社法第447条第1項及び会社法第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の一部を減少しその他資本剰余金に、利益準備金の全額を減少し繰越利益剰余金に、それぞれ振替えるものであります。

2019年6月30日現在の資本金、資本準備金及び利益準備金の額

資本金	1,335,010,000円
資本準備金	1,340,745,000円
利益準備金	101,000,000円

減少する資本金、資本準備金及び利益準備金の額

資本金	1,035,010,000円
資本準備金	1,240,745,000円
利益準備金	101,000,000円

増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	2,275,755,000円
繰越利益剰余金	101,000,000円

資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少の効力発生日

2019年11月1日

## 3. 剰余金の処分の要領

会社法第452条の規定に基づき、上記2の資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少の効力発生を条件として、その他資本剰余金の一部及び別途積立金の全額を取崩し繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行うものであります。

減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	1,714,767,655円
別途積立金	950,000,000円

増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金	2,664,767,655円
---------	----------------

## 4. 上記2及び3の結果

それぞれの項目は次のとおりとなります。

資本金	300,000,000円
資本準備金	100,000,000円
その他資本剰余金	560,987,345円
利益準備金	0円
別途積立金	0円
繰越利益剰余金	0円

## 5. 資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少の日程

取締役会決議日	2019年8月19日
株主総会決議日	2019年9月26日
債権者異議申述公告日	2019年9月30日
債権者異議申述最終期日	2019年10月31日
効力発生日	2019年11月1日